

月 報 (2013 年 5 月)

提出日 2013 年 6 月 3 日
国際戦略推進本部 下田 誠

今月の業務テーマ	
(1) 東京学芸大学の国際化を推進する組織づくりを行う。	具体的な行動目標 新国際戦略推進本部の下部組織について検討する。
(2) 東アジア教員養成国際コンソーシアム事業の第2フェーズと国際共同研究を推進する。	具体的な行動目標 第8回東アジア教員養成国際シンポジウムに向けて国際共同研究を推進する。
実施内容	
(1) について 【国際戦略推進本部の活動】 先月に続き、新国際戦略推進本部の下部組織と国際協力事業の実施方針について関係者と協議を重ねた。	
(2) について 【東アジア教員養成国際コンソーシアム事業実施部会の活動】 「東日本大震災被災地の教育支援ボランティア」(文部科学省スポーツ青少年局助成課題)について、企画委員会の組織や被災地での活動について検討と調整、交渉をおこなった。	
成果	
(1) について 国際戦略推進本部の下に、外国の大学等との短期間の学生派遣及び受入れを推進する留学プログラム実施部会を設置し、また協定戦略のたたき台作成などのため国際戦略WGを設置することとした。 留学生センター運営委員会委員に真山茂樹教授を推薦した。 国際協力事業の実施方針は、国際化の基本方針とともにさらに整理し引き続き検討することとした。 田中喜美前理事・副学長がコーディネーターを担当する公州大学校・韓国教員大学校・京仁教育大学校・忠南大学校・ウメオ大学教育学部・イースタンミシガン大学について、韓国の4校は藤井健志理事・副学長が引き継ぎ、ウメオは斎藤純男教授、イースタンミシガンは菅美弥准教授が担当することになった。	
(2) について 第8回東アジア教員養成国際シンポジウムの分科会での発表者を学内で公募することにした。 藤井理事・副学長、金範洙特命教授及び松尾敏子国際副課長は、ソウル教育大学校と公州大学校を表敬訪問し、「東アジア教員養成国際コンソーシアム学生相互交流プログラム」(JASSO)と「東日本大震災被災地の教育支援ボランティア」について説明し、在籍学生の積極的な参加を依頼した。 岩田康之教授、秋保課長及び下田准教授は国際共同研究の打ち合わせと「青少年教育施設を活用した国際交流事業」の説明のため、大阪教育大学を訪問した。 国際大学院プログラムの策定に向け、意見交換をおこない、引き続き検討することとした。	
6月の予定	
「東日本大震災被災地の教育支援ボランティア」関連：企画委員会の組織、契約／石巻訪問	